株式会社キャッスルホテル　取組名称　環境負荷の低減とホテル価値の向上を両立する脱炭素経営

取組概要

西明石のホテルキャッスルプラザでは、LED照明や自動節電システムの導入、バイオマス素材アメニティの採用、食品ロス削減など、日々のホテル運営を通じて環境負荷の低減に取り組んでいます。
2025年11月からは、連泊時の客室清掃を3日に1回を基本とする運用へ変更。シーツやタオルの交換頻度を減らし、リネン業者に依頼する洗濯量を削減することで、同業者での年間約110万リットルの節水効果を見込んでいます。洗濯・乾燥に伴うエネルギーや洗剤使用料の削減、清掃業務の負荷軽減にもつなげています。
これらの取組を大阪・舞洲のグループ施設「The Day Osaka」にも展開。同施設では、環境省の「自然共生サイト」に認定された約2.17haのガーデンで、生物調査や落ち葉の腐葉土化を実施。豊かな自然を「ガーデンステイ」という宿泊価値として提供し、環境保全とホテルの魅力向上を両立しています。

取組写真

